



## 地域の歴史を伝える : 中学校と連携して

大槻, 守

---

**(Citation)**

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 18:30-[37]

**(Issue Date)**

2020-02-02

**(Resource Type)**

conference object

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012141>



## 地域の歴史を伝える—中学校と連携して—

香寺町史研究室 大槻 守

はじめに

### 1. 歴史研究会として伝える活動

町史『村の記憶』刊行（2005年）以後の活動

\* 拙稿「香寺歴史研究会の活動—『村の記憶』を書き継ぐ」（『LINK』vol. 10）

\* 拙稿「町史編さんから大字誌へ」（第4回地域史惣寄合報告集『地域の全体史と現代』和泉市、2016）

#### (1) 大字誌の編集を町内自治会で広げる

- ・「ムラの自分史」ともいえる大字誌をつくる。
- ・21集落中6自治会で発行（第1号が相坂：2010）しており、現在3自治会が編さん中
- ・会員が編さんの中心となる。
- ・編年史ではなく、村の暮らしの変遷を記録する。

#### (2) フォーラム「大字誌をつくる」

第1回＝2011. 2 報告者：町外2・町内1

第2回＝2013. 3 報告者：町外1・町内2

第3回＝2015. 2 報告者：町内3

第4回＝2018. 2 報告者：町内3

#### (3) 『村の記憶』を書き継ぐ会

- ・「村の記憶」を書き継ぐ人を育てる。
- ・大字誌づくりを拓げる。
- ・「山と地名・暮らし」（2018）・「川と地名・暮らし」（2019）の調査
- ・『新・ムラの生活史』Ⅰ（2018）・Ⅱ（2019）の発行

### 2. 中学校との連携

\* 『香寺町の歴史』第13号〈特集：村の歴史を伝える〉

#### (1) 中学校の地域調べ学習

- ・ねらい ①総合的学習の一つの柱として位置づける。  
②キャリア教育の一環とする。  
②地域社会の一員であり地域の歴史や伝統文化を受け継ぎ、次の世代に引き継いで行く大切な一員であることを知る機会とする。

#### (2) 2018年の活動

1年生4クラス160人の取り組み

- ① 夏休みの課題研究：香寺町の歴史・文化・伝統を調べる。

研究内容は2学期の総合学習の時間に発表する。

作品の一つが「姫路市中学生社会科作品展」の銅賞を受賞している。

- ② 2学期：「山と暮らしについて」アンケート調査

- ・多くの子どもが山の名前を知らないし、山へ入ったことがない。
- ・山といえば、会員はマツタケ採りやくくば（落葉）かきを思いだすが、今の中学生は全く知らない。
- ・山と暮らしが切っても切れない関係にあったことが分らなくなっている。

- ③ 3学期：会員4人が出前授業「もっと知りたい、香寺！～地域の人に学ぶ～」を2月4日6限に実施する。

内容＝アンケート結果を切り口にして、村の暮らしの今昔を体験を交えながら話す。

生徒の感想＝別紙資料 .....資料1

「普段住んでいるのに、知らないことがたくさんあって自分でも驚きました。……これからも私自身、『香寺のココがすごいぞ』と自慢できるように、もっと良いところを見つけていきたいと思います」

(3) 今年度の活動

- ① 2年生への出前授業 .....資料2-A

トライやるウィークの一環として、希望者に実施（6月3日）する。

午前＝授業：3時間・3人が担当

午後＝学校周辺のフィールドワーク・指導者1人

- ② 1年生の地域調べ学習への協力

ア) 出前授業：7月5日(金)6限・指導者4人.....資料2-B

テーマ＝「香寺町の歴史と文化財―各地区を事例にして―」

夏休みの「地域調べ」の手引になるようにと考える。

イ) 地域調べに協力

夏休み＝1年生全員が地域調べ学習 .....資料3

7月22日(月)～30日(火)の間に生徒が各地区で聞き取りを行う。

⇒研究会員及び自治会長等28人が聞き取りの相手となる。

ウ) 文化発表会で展示作品の見学

10月24日～30日 生徒全員の作品展示

- ③ 提案型協働事業報告会

2月13日(木) 予定

3. 成果と課題

.....資料4・5

# 1年2組学級通信

2019.2.7(木)

## 地域の人々に学ぶ～私たちの町、香寺～

2月4日の6校時、「香寺歴史研究会」の方をお招きして、香寺中校区の歴史について教えていただきました。2組では、山と深く関わり合いながら生活していた話や、香寺中学校区(主に中寺地区)の歴史を中心に話をさせていただきました。電子黒板を使って、当時の写真から生活の様子を伺い、時には、実際に使っていた道具の実物を見せてもらったりして、とても意義のある時間になりました。



### お礼のお手紙より。。。

香寺がこんなにすごいことが分かり、驚きました。中寺地区だけでも「恒屋城跡」「中村構屋」「中村温泉」「薬師堂」など、多くの建築物があり、まだまだ中寺地区にある多くの建築物について知りたいなと思いました。

・皇室や、アメリカからの証書の実物を見て、すごすぎて、とてもびっくりしました。この香寺町のすごいところを伝えていけたらいいなと思います。

・私は、中寺地区や香呂地区の歴史などはあまり知らなくて、今日、話を聞いて、とてもたくさんあって、すごく驚きました。特にびっくりしたのは、くわの種類の中で、大きな種類のものがあって、こんなに大きいものを初めてみたのですごいと思いました。

・この香寺に神西炭酸水があることを初めて知りました。そんなすごいものがあるんだと驚きました。昔の暮らしを聞いたとき、今は昔よりずっと便利になっていることが分かったのと同時に、昔の大変さがよくわかりました。当時使っていた、斧やのこぎり、鎌を見て、これがその時代の最新技術だったのかなあ。と思いました。

・昔使っていたものがまだ大切に保管してあるのを見て、とてもすごいと思いました。また、公民館に行って、もっとじっくり見てみたいと思い、興味がわきました。今日学んだことを、自分たちが大人になったら今日みたいに地域で交流して、地域のことをみんながよく知れるようにしたいと思いました。

みなさんが今、暮らしている香寺町。それは「ふるさと」とも言い換えることが出来ると思います。これから皆さんがどんな人生を送っても、「ふるさと」は特別な存在になるのではないのでしょうか。今回の講座は、まだ気づいていないふるさとの魅力を発見するいい機会になりました。また機会があれば、自分の住んでいるふるさとのことを調べてみてくださいね。





# こうでら

校訓

忍創誠  
耐造実

令和元年 6月5日

資料 2-A

姫路市立香寺中学校

文責：校長 堀 晶子

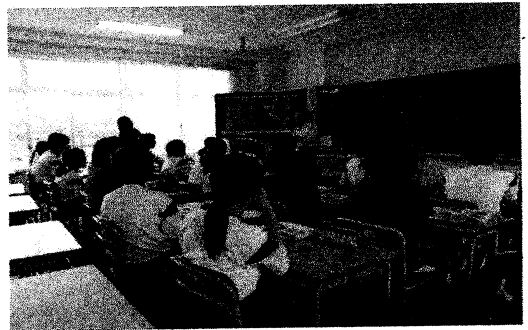
## 香寺歴史研究会による1日「トライやる・ウィーク」

6月3日から「トライやる・ウィーク」が始まっています。2年生が元気に参加しました。5日間という短い時間ですが、「働く」体験を通して、たくさんのことを学んでほしいと思います。

毎年、月曜日がお休みの事業所が数か所あります。その場合、学校に来て、普段できない花壇の整理等、ボランティア活動を行います。本年度は「香寺歴史研究会」のご協力により、「もっと知りたい、香寺！」授業をしていただきました。

- ・1校時 「ホテルと香寺町」 講師 竹尾元一さん
- ・2校時 「義人 新五郎の碑」 講師 駒田新安さん
- ・3校時 「恒屋川とくらし」 講師 高田雅勝さん
- ・午後 「香寺中学校周辺のフィールドワーク」  
講師 大槻守さん

たくさんの資料や昭和9年の新聞、ホテルの標本等、生徒にわかりやすいように工夫をして、説明していただきました。午後のフィールドワークでは香寺中のすぐ近くに古墳があることもわかりました。香寺歴史研究会の皆様、ありがとうございました。また、香寺中では「ホテルが戻ってきた川」という地域資料を使い、道徳の授業を行っています。



資料 2-B



# こうでら

校訓

忍創誠  
耐造実

令和元年 7月8日

9号

姫路市立香寺中学校

文責：校長 堀 晶子

## 1年生が地域でお世話になります。

昨年度より、香寺歴史研究会のご協力をいただき、1年生が「もっと知りたい！香寺」と題し、地域調べ学習を行っています。本年度もその活動を継続していきます。職員室前には香寺町に関する書籍を集め、貸し出しができるように学校司書の先生が準備してくれました。

7月5日には5名の研究会の方をお招きし、「香寺町」に関する出前授業を行いました。それを受け、1年生が夏休みに更に深く調べたいこと、新たに興味を持ったことについて調べ学習を行います。その際、各町の会員の方や各自治会の方に自分が調べたいことについてインタビューにお伺いする活動を行います。事前に電話連絡し、訪問日の予約をします。そして、インタビュー後、それを基に学校図書館や香寺図書館、インターネット、現地取材をし、レポートにまとめます。2学期は各クラスで発表会を予定しています。初めての試みで試行錯誤の段階ですが、香寺歴史研究会と自治会のご理解とご協力のお陰で実施の運びとなりました。心よりお礼申し上げます。町内を生徒たちが回るときには是非、声をかけていただけたらと思います。訪問日は7月22日(月)～7月30日(火)午後となっています。

## 第1回学校評議委員会

6月25日に第1回学校評議委員会を行いました。各連合自治会長様はじめ7名の方に本年度の学校評議員をお願いしました。学校経営方針、各学年の様子及び今後の予定、現在試行中の部活動ガイドライン等について説明をさせていただきました。また、学校に対するご意見や願いも伺いました。地域の皆様には香寺中学校は温かく見守られ、期待されているのだということを感じました。今後とも教職員一丸となって、生徒とともに、「香寺 イズ No1!」を目指します。ご理解ご協力をお願いいたします。



作品名	調べた地区名
犬飼の神社	犬飼
蛇穴神社	広瀬北
蛇穴神社について	広瀬北
香呂の西向き地藏	香呂
須加院の建造物	須加院
廣田神社	溝口
犬飼の歴史	犬飼
香呂の大字・小字	香呂
土師村	土師
田川神社	須加院
小字	香寺町
犬飼の歴史	犬飼
溝口廃寺跡の石造物	溝口
香呂の歴史的建築物	香呂
毘沙門天堂	須加院
須加院の歴史	須加院
中仁野	中仁野
中仁野の川	中仁野
吉備律神社	中寺
中屋の小字	中屋
香寺町の史跡・資料館を巡って	香寺町
中村温泉	中村
中屋の歴史	中屋
香呂の橋	香呂
薬師堂	香呂
岩部の小字	岩部
岩部	岩部
香寺町の橋	香寺町
大年神社	土師・中寺
香寺町	香寺町
久畑	久畑
中寺の歴史について	中寺
土師の神社	土師
広瀬南の事	広瀬南
大年神社	土師
香呂について	香呂
中屋	中屋
岩部	岩部

## 中学生の「地域調べ学習」に協力して

《前欠》

## 五 地域調べへの期待

今回協力していただいた方はどなたもこの度の試みを好意的に受け止めていただいている。それはこちらが思っていた以上の反応であった。相手していただいた方からみると中学生は孫の世代になる。今まで中学生たちとは話をしたいと思っただけでもその機会がなかった。これからの地域を担っていく子どもたちであり、地域のことをもつと知ってもらいたいという気持ちをごなたにも強いことがうかがえた。

その上でこの試みに対する今後への期待が次のように述べられている。

- (1) よい企画で子どもたちに村の歴史、現在の姿を知ってもらうことは大変意義のあることだ。
- (2) 郷土について調べて分からないことを尋ねるのはお互い勉強になる。
- (3) 地域をよく知ることは大切なこと。地域愛を育てることにもなる。今後も継続してほしい。
- (4) 高齢者と中学生が接することは良いことだ。一回限り

でなく続けていければと思う。

(5) 生徒が地域のことをもつと知りたいたいということだったから歓迎する。積極的に取り組む。

(6) もう少し歴史が分かっているから、冬休みとか二年生になつてからではどうか。

(7) 親が送迎するなど力を入れていた。

(8) 生徒発表のテーマ・内容のまとめが出来上がったら配布してもらいたい。今後の資料としたい。

(9) 生徒の発表レポートが楽しみである。

(10) 学校の要望にはできるだけ協力したい。

皆さんのこうした温かい協力は生徒たちにも届いていて、別項の校長先生の言葉「もつと知りたいたい、香寺！」にもあるように、今回の取り組みは、生徒たちにとって「大きな成果であり、……今後への自信につながった」と感謝し振り返っておられるし、「次年度は本年度の反省を生かし、更に充実させたい」と願っておられる。香寺町のこれからの思い、次代を担ってくれる中学生のことを考え、これからも私たちにできることを続けたいと思っている。(大槻)

「もっと知りたい、香寺！」

地域の人に学ぶⅡ

姫路市立香寺中学校長 堀 晶子

《前欠》

(七) 「地域調べ」 生徒感想

○地域の方に電話をかけた後、インタビューの練習や計画を立てたりするのに苦戦しましたが、自分の住む香寺町の歴史を知る度に達成感が強くなり、調べるのが楽しくなりました。歴史研究会の方が現地に連れて行って下さり、話だけでは分からないことまで、熱心に教えてくださって香寺の歴史にもっと関心が深まりました。普段、地域の方と会話をしたり、何かを教わることはなかなかないので、とても良い経験ができました。今回の地域調べで、初めて知ったことも多くて、自分が知らないことが、まだまだたくさんあるということがわかったので、次、こんな機会があれば、もっと深く調べたいと思います。

○私は夏休みに中仁野へ地域調べに行きました。私は中仁野にある渡し場について調べました。地域の方の話を聞いて、中仁野や渡し場のことについて、詳しく知ることができました。とても古い資料やその地域にしかないものなど、貴重なものをたくさん見せてもらいました。初めて知ることばかりで、すごいなと思いました。他の村とつながっていることなどもあって、歴史は面白いなと思いました。中仁野は自分が住んでいる隣の村だけど知らないことばかりでした。いざ、調べてみると自分が住んでいる香寺町のことを私は全然知らなかったんだと気づかされました。この地域調べをして、たくさん知れて良かったし、自分の村や地域について、知っていききたいなと思いました。自分の地域を知るといえるのは、その地域の一員になる第一歩になるのかなと思いました。この地域調べで、色々なことを知れてよかったです。

終わりに

本年度、地域調べ学習をさらに発展させ、「生徒が地域に行く」「地域の方と直接、話をする」等、香寺中学校にとつて、初めての取り組みを実施した。研究会の代表の方と打ち合わせを十分に行ったつもりが、実際には研究会や自治



会にご負担をかけることになってしまったことに心からお詫するとともに、様々な準備不足にも関わらず、生徒たちの訪問を快く受け入れていただいたことに感謝の気持ちで一杯である。生徒に話を聞くと、「楽しかった」「とても丁寧に教えてもらった」等、喜びの声をよく聞いた。何よりもほぼ全員が地域の方を訪問できたことはこの取り組みの大きな成果であったと感じるとともに、今後の取り組みを進めるにあたり、私自身の自信につながった。

将来の見通しを持ちにくい時代の中で、子どもたちが地域に根ざし、自分たちの地域を知り、誇りの思う心を育てたい。その心を土台に、世界へ羽ばたく力を身につけ、活躍してほしい。そして、再び、香寺の地に根を張り、香寺の発展と自分たちが継承してきた歴史や伝統文化、生活と次の世代につなぐ架け橋となる、そんな生徒をこの取り組みを通して育てたい。研究会・自治会の皆様から、この取り組みの継続への支援していただけるとご意見をいただき、感謝の気持ちで一杯である。次年度は本年度の反省を生かし、更に充実させていきたい。